

中村元記念館通信

第6号

News

開館2周年特集



左から、島根大学、東京大学、龍谷大学、立正大学、前田館長、武藏野大学、佛教大学、島根県立大学

中村元記念館と諸大学との連携調印式を行いました（2014.10.6）

中村元記念館は、次世代を担う研究者の発掘・育成を目的として、仏教や東洋思想などを研究する大学と連携協定を結び、2014年10月6日に連携調印式を行いました。

調印式には、武藏野大学、立正大学、龍谷大学、佛教大学、東京大学インド哲学仏教学研究室、島根県立大学のほか、2013年10月に協定を結んだ島根大学からもご参加いただきご挨拶をいただきました。また、当日は、「中村元東洋思想文化賞」創設の発表も行いました（裏表紙をご覧ください）。

その後、大正大学、大谷大学、東洋大学とも協定書を交わし、全国10大学と提携することができました。

立正大学のあゆみ展を開催（2014.10.7～11.9）

中村元記念館と立正大学との学術提携記念企画展「立正大学のあゆみ展～世纪（とき）を超えて伝える立正安國の精神」を立正大学との共催で開催しました。中村博士や島根県とも縁が深い立正大学の歴史、同大学の先生方による島根県の研究、中村博士との思い出を綴ったパネルなどを展示しました。

10月12日に開催した立正大学の三浦佑之教授による記念講演「古事記と出雲神話」には、多くのお客様にお越しいただきました。



中村元著作展を開催中（2014.10.7～2015.3.31）

書庫の蔵書を初公開しています。今回は中村博士の著作を中心に、編著作品や対談集なども集め、447点の展示です。外国での出版物や、インドの紀行、小中高校生の教科書や児童書、2014年に出された新刊書など、様々な出版物が並び、博士の足跡を一望できます。完成までに長い年月の掛かった『佛教語大辞典』など佛教関係のものから『比較思想事典』まで、博士が編纂された辞書事典類も展示しております。ぜひこの機会にご覧ください。

期間限定
特別展





ちょっと、お邪魔しま～す！

東方学院松江校 講座紹介

「観想行入門一座禅を中心に」 清水谷善圭 講師



2013年4月に開講した東方学院松江校も3年目を迎えようとしています。2014年度は定期講義7講座、集中講義4講座を開講し、延べ64名の受講生が学んでいます。今回、定期講義の中から、毎月第4木曜日の午前中に行われる「観想行入門」の講座にお邪魔しました。

受講生は女性5名。前半の講義では、受講生から質問が出るなど活発なやりとりがされていました。一方、後半は教室の半面に広げられたインドの敷物の上に座り、お香の香りが漂うなか、心を落ち着けて静かに座禅をしました。

講義後に、受講生さんに感想を聞いてみました。

「毎回あっという間の90分です。観想行の講義も分かりやすく仏教の奥深さを感じります」

「脚を組み、手を組んで、ただ座ることの楽しさを知りました。清水谷先生は、仏様というより福の神様のような笑顔をなさり、分かりやすい講義をありがとうございます」

「（昨年度も受講したが）同様の内容をお聞きしても、その都度興味深いです」

講義終了後もみなさんでお茶を飲みながら話をされるなど、和気あいあいとしたクラスです。

東方学院松江校では体験受講(1コマ90分1,500円)も受け付けています。詳しくはお問合せください。

座禅を中心とした観想行を通して、心の内觀・内省に努め、「色即是空、空即是色」の意味する処を会得して行きましょう。



清水谷善圭 講師

2015年度 受講生募集

東方学院松江校では、新年度の受講生を募集しています。今回は、定期講義に新規開講「宮沢賢治の《文語詩稿》を読む」「仏像見分け方講座」の2講座が加わります。詳しくは「受講の手引き」をご覧ください。

※「受講の手引き」のご請求は、お電話または中村元記念館ホームページから。



大根島だより vol. 3

地域連携関連ニュース

●中村元記念杯 グラウンドゴルフ大会 (2014.10.10)

中村元博士の命日であり、中村元記念館の開館記念日でもある10月10日に「慈しみの碑」のある大塚山で「中村元記念杯 グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

第2回となる今回は、地元八束町のほか近隣の美保関町や本庄町などからもお越しいただき、約150人の参加がありました。晴天に恵まれ汗ばむくらいでしたが、広く青い空の下、参加者の方は伸び伸びとプレーされていました。

大塚山から見下ろす大根島や中海の絶景も楽しんでいただけたと思います。



●八束町文化祭 じゃがぼとけ作り (2014.11.2)

11月1日(土)、2日(日)に、第41回八束町文化祭が開催されました。

公民館で活動されるサークルや地域の方々の作品展示、音楽祭、模擬店などの催しがあり、多くの来場者で賑わいました。

2日目には、中村元記念館も参加し「じゃがぼとけ作り」と、インドのスタンプを使った「しおり作り」のブースを出しました。雨、風がひどい中、たくさんの方が記念館ブースに来てくださいました。

以前記念館でボランティアをしてくれた八束学園の生徒さんが一番に来られて、楽しみながらじゃがぼとけを作られました。



東方学院松江校特別講座 申込受付中！

「ジャイナ教 ～どう仏教と異なるのか～」

講師 矢島 道彦 氏（駒澤大学客員教授）



なぜ、インドにおいて仏教は滅びたのに、ジャイナ教は今日まで生き延びたのか？

3月7日(土)13:30～16:50 / 8日(日)10:30～14:30

「アビダルマ概説」

講師 三友 健容 氏（立正大学教授）



仏教の基本的な教理が述べられた論藏（アビダルマ）。有名な『俱舍論』を中心に説明していく。

3月28日(土)13:30～16:50 / 29日(日)10:30～14:30

【会場】中村元記念館（島根県松江市八束町波入2060）

【受講料】5,000円（東方学院松江校研究会員4,500円）

※お問合せは、中村元記念館（☎0852-76-9593）まで。

博士の食卓



インドでよく飲まれているチャイは、中村博士も生前好んで飲んでいました。本場のチャイ屋さんでも、甘くてコクのあるチャイ、すっきりとした味のチャイ、スパイスも使っていたりいなかったり…、それぞれに材料や作り方が異なり、店によってずいぶん味が違うとか。今回は松江市浜乃木にある「紅茶専門店リーフティー」さんにお聞きしたレシピをご紹介します。

寒い季節にもぴったりのチャイ。心も体も温まりますよ。

<材 料>出来上がり 350 c.c. (カップ2杯半) 分

- ・水 140 c.c.
- ・牛乳 210 c.c.
- ・茶葉 6 g (ティースプーン中盛2杯)
ルフナ、アッサムなど香りや味の強い茶葉がおすすめ。
- ・お好みでスパイス
ジンジャー、シナモン、クローブ、カルダモンなど。
粉状のものは舌に残るので、ホールを潰して使うとよい。

<作り方>

- ①水、茶葉を鍋に入れ強火にかける。
 - ②強火で約2分、沸騰して茶葉が開いたら牛乳を入れる。
 - ③泡が鍋の中心部までせまってくる直前に火を止める。
 - ④鍋からポットへ移し、ティーカップに入れる。
- ※スパイスを入れる場合は、あらかじめポットの中に入れておく。
※砂糖やハチミツで甘味を加えてもよい。



中村博士の本を紹介

博士の本棚

中村元 訳 丸山勇 写真 佐々木一憲 解説

新潮社刊 1,512円

ブッダの声が聞こえる、と本書に書かれている通り、中村元がパーリ語原本から訳したブッダの言葉がインドの美しい鮮明な写真を背景に新しく蘇り、現代を生きる私たちに、語りかけてくるようです。

中村元記念館が開館した時に、ブッダの言葉と丸山氏の写真とのコラボレーションによる企画展が開催されました。とても印象深い展示で「写真集や図録は無いのですか？」、「この言葉は何に載っているものなんですか？」と、たくさんのお客様に尋ねられましたが、やっと開館2周年の2014年、この本が出版されました。ブッダの故郷・インドで写されたこれらの写真は、解説の佐々木氏等の編集によって、見事に言葉のイメージと共に鳴っています。

現在開催中の「中村元著作展」で展示中です。



ジャイナ教 とは？

ジャイナ教は、仏教の創始者である釈尊（ゴータマ・シッダッタ）とほぼ同時期に活躍したマハーヴィーラ（本名：ヴァルダマーナ）によってB.C.5-6c頃に開かれたインドの宗教です。

ジャイナ教は仏教との間に思想や戒律などで共通する部分が多くありますが、仏教が広く流布して世界宗教となったのとは対照的に、インド以外にはほとんど伝わることがなく現在に至っています。

ジャイナ教の特徴として先ず挙げられるのが、「不殺生（アヒンサー）」の遵守です。仏教でも不殺生戒はありますが、ジャイナ教ではさらに徹底されています。例えば、出家者は払子を携帯しており、歩く際にはこれを使って足下を掃いてから歩きます。これは、歩くことによって地上の虫を踏みつぶさないためです。他にも、口に虫などが入ってくることを防ぐために、口を覆うマスクのようなものを身に付けたりして、不殺生を守っています。食生活では、肉や魚はもちろん、植物の殺生につながるとして根菜・球根類も口にしません。

ジャイナ教は不殺生の厳守に加え、苦行・禁欲主義をとることでも知られています。中でも「無所有（アパリグラハ）」は特徴的です。厳格主義に徹する保守的な「裸形派」は、衣服の着用さえ無所有の教えに反するとして、裸行の遵守を主張します。移動をするときは裸足で徒歩、また幾月も水を断ったり断食したりの苦行を修めます。



中村元東洋思想文化賞の創設について

当記念館の設立目的の一つとして掲げる「学術振興」の一環として、この度「中村元東洋思想文化賞」を創設いたしました。東洋の思想文化に関する学生の論文を募集することで、次世代を担う若い研究者に対して研究の啓発・助成ができるよう貢献していきます。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/ronbun.html>

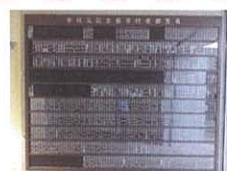


2014年4月1日から12月末日までの期間に御寄付をいただいた方のご芳名を記載させていただきます。
公開を希望されない寄付者様につきましては、記載しておりません。

<個人>	足立三樹夫 様	松平 直壽 様	心身教育研究所 様
	石田 両市 様	三明ひろよ 様	真宗大谷派 正応寺 様
	井田美代子 様	三島 俊弘 様	真宗大谷派 永泉寺 様
	稻垣 浄賢 様	山本 哲夫 様	浄心寺門信徒会 様
	太田 義人 様	山本 廣基 様	浄土真宗本願寺派山陰教区大田中組 様
	大塚 鐵雄 様	山本 芳郎 様	正蓮寺 様
	大坪 広毅 様	渡会 二郎 様	新和設備工業株式会社 様
	柏木 英作 様		西楽寺邦遊会 様
	梶谷 旭生 様		善徳寺 様
	清原 茂治 様	一畑寺 様	総本山 仁和寺 様
	楠原 司朗 様	一畑電気鉄道株式会社 様	中国電力株式会社島根支社 様
	小竹 伸良 様	園城寺 様	長寿寺 様
	桜井 俊彦 様	雲南建設株式会社 様	長命寺 様
	清水谷 圭 様	カナツ技建工業株式会社 様	長楽寺仏教婦人会 様
	釈 悟震 様	株式会社ウッドスタイル 様	天台宗人権擁護委員会 様
	中村 祥江 様	株式会社島根銀行 様	天王寺 様
	野津 一成 様	株式会社仲興サンライズ 様	中浦食品株式会社 様
	原 美知子 様	株式会社谷口印刷 様	212朋友会 様
	原田 弘吉 様	株式会社中電工島根統括支社 様	年法眞教 様
	福田 和子 様	株式会社テクノプロジェクト 様	法正寺仏教婦人会 様
	藤倉 良栄 様	株式会社ユニコン 様	松江土建株式会社 様
	藤田 宏達 様	華蔵寺 様	マツダオートザム松江 様
	藤田 昌英 様	山陰合同銀行 様	まほろば税理士事務所 様
	藤本 大士 様	山陰中央テレビジョン放送株式会社 様	まるなか建設株式会社 様
	北条 賢三 様	三千院 様	明顯寺 様
	前田 専學 様	島根電工株式会社 様	有限会社スマイル工芸 様
	前田 式子 様	島根トヨタ自動車株式会社 様	有限会社仏壇の原田 様
	益山 明博 様	島根日産自動車株式会社 様	和幸株式会社 様
	松下恵美子 様	真光寺 様	
		深大寺 様	
<団体>			

ご協賛のお願い

中村元記念館はみなさまからの温かいご支援によって運営されております。事業の趣旨をお汲み取りいただき、記念館運営事業にご寄付賜りますようお願い申し上げます。1万円以上のご寄付をいただいた方は、一定期間、記念館エントランスにネームプレートを掲示させていただきます。詳しくは中村元記念館までお問合せください。



発行／2015年2月 発行所／NPO法人中村元記念館東洋思想文化研究所

中村元記念館

Nakamura Hajime
Memorial Hall
ナカムラ ハジメメモリアル ハウス

〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060番地
松江市八束支所2階

TEL 0852-76-9593 FAX 0852-76-9693

Mail: info@nakamura-hajime-memoriahall.or.jp

URL:<http://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp>

■開館時間：10:00～18:00（入館は17:30まで）

■入館料：無料 ■閉館日：月曜日、夏期、年末年始

